



お知らせ

平成 26 年 6 月 3 日

同時資料提供先

合同庁舎記者クラブ、鳥取県政記者会、島根県政記者会、
岡山県政記者会、広島県政記者クラブ、山口県政記者クラブ、
山口県政記者会、山口県政滝町クラブ、中国地方建設記者クラブ

水生生物調査に延べ 2,600 名参加！

良好な水質状況をみんなで実感！

今年度も参加者を募集！！

～中国地方整備局 平成 25 年度 水生生物調査の実施結果について～

<水生生物調査とは？>

川底にどのような生物が住んでいるかを調べることで、その地点の比較的長い期間の水質の状態を簡易的に判定する、住民参加型の調査です。誰にでも簡単に水質状況が判定できるので、昭和 59 年から小・中学生、高校生を中心に、多くの方々に参加していただいています。水生生物調査は、河川と親しみながら調査をすることで、身近な存在である河川に対して、河川愛護、水質浄化等の関心を高めてもらうことを目的として実施しています。

<平成 25 年度実施状況>

中国地方の一级河川の 96 地点において、
6 月から 11 月にかけて小・中学生、高校生を
中心に 73 団体、延べ 2,600 名の参加を得て実施
しました。



水生生物の調査風景



<平成 25 年度調査結果>

水質を [I] きれいな水～ [IV] 大変きたない水の
4 つの階級に分けて取りまとめた結果、

[I] きれいな水および [II] ややきれいな水と評価された地点が全体の 97% となり、
概ね良好な結果となりました。

きれいな水の生物 カワゲラ



きれいな水の生物 ヘビトンボ



国土交通省 中国地方整備局

○問い合わせ先

国土交通省中国地方整備局

電話番号 (082) 221-9231 (代表)

(担当) 河川部 流域・水防調整官 さきおか 笹岡 そういち 総一 (内線 3518)

(担当) 河川部 建設専門官 おかやま 岡山 ゆきひこ 幸彦 (内線 3758)

(広報担当窓口) 総務部 広報広聴対策官 さかもと 坂本 しげゆき 繁幸 (内線 2117)

企画部 環境調整官 たお 田尾 かずなり 和也 (内線 3114)

※全国水生生物調査に参加を希望される場合のお問い合わせ先

平成 26 年度も市民の方々の参加を得て全国水生生物調査を実施します。調査への参加を希望される方は以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。

- 中国地方整備局の窓口（一級河川直轄管理区間）

事務所名	HP の URL	担当水系名	電話番号	担当部課名
鳥取河川国道事務所	http://www.cgr.mlit.go.jp/tottori/	千代川	0857-22-8435	河川管理課
倉吉河川国道事務所	http://www.cgr.mlit.go.jp/kurayoshi/	天神川	0858-26-6221	河川管理課
日野川河川事務所	http://www.cgr.mlit.go.jp/hinogawa/	日野川	0859-27-5484	調査設計課
出雲河川事務所	http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/	斐伊川	0853-21-1850	水環境課
浜田河川国道事務所	http://www.cgr.mlit.go.jp/hamada/	江の川(島根県)、高津川	0855-22-2480	河川管理課
岡山河川事務所	http://www.cgr.mlit.go.jp/okakawa/	吉井川、旭川、高梁川	086-223-5101	防災情報課
福山河川国道事務所	http://www.cgr.mlit.go.jp/fukuyama/	芦田川	084-923-2620	調査設計第一課
三次河川国道事務所	http://www.cgr.mlit.go.jp/miyoshi/	江の川(広島県)	0824-63-4121	調査設計課
太田川河川事務所	http://www.cgr.mlit.go.jp/oitagawa/	太田川、小瀬川	082-221-2436	計画課
山口河川国道事務所	http://www.cgr.mlit.go.jp/yamaguchi/	佐波川	0835-22-1785	河川管理課
中国地方整備局 (河川部)	http://www.cgr.mlit.go.jp/cginfo/syokai/busyo/kasen/index.htm		082-221-9231	河川部 水災害予報センター

- 各都道府県の環境部局 (<http://www.env.go.jp/kids/water.html>)

平成25年度

水生生物による水質の簡易調査の実施結果

中国地方整備局

調査風景－1

千代川水系 千代川 ^{もちせ} 用瀬地点（鳥取県）



天神川水系 小鴨川 ^{まつがわらおおはし} 松河原大橋 橋下（鳥取県）



日野川水系 日野川 ^{ほうきばし} 伯耆橋地点（鳥取県）



斐伊川水系 神戸川 ^{まきおおはし} 馬木大橋地点（島根県）



高津川水系 高津川 ^{いいだ} 飯田地点（島根県）



江の川水系 江の川 ^{つがほんごう} 都賀本郷地点（島根県）



調査風景－2

旭川水系 旭川 ^{しんおほはらばし} 新大原橋地点（岡山県）



高梁川水系 高梁川 ^{たたいぜき} 湛井堰地点（岡山県）



吉井川水系 吉井川 ^{わけばし} 和気橋地点（岡山県）



太田川水系 古川 ^{おおした} 大下地点（広島県）



小瀬川水系 小瀬川 ^{おがわづ} 小川津地点（山口県）



佐波川水系 佐波川 ^{しんばし} 新橋地点（山口県）



1. 調査の目的

河川の中にはさまざまな生物が生息していますが、特に川底に生息する生物（水生生物）は、過去から調査時点までの長時間の水質状況を反映した結果でもあります。

したがってどのような生物が生息しているかを調べることによって、その地点の比較的長い期間の水質の状態を知ることができます。

国土交通省と環境省では、それぞれ昭和59年から「水生生物による水質の簡易調査」（以下「水生生物調査」という）をはじめています。

水生生物調査は、誰にでも簡単に水質状況が判定できるので、小・中学生、高校生を中心に、多くの方々に参加していただき、河川と親しみながら、河川の水質状況を把握し、水質保全施策の基礎資料を得るとともに、調査を通じて私達の身近な存在である河川に対して、河川愛護、水質浄化等の関心を高めてもらうことを目的として実施しています。

2. 参加者数と調査地点数

小・中学生を中心に、73団体、延べ2,600名の参加を得て、中国地方一級河川の96地点で実施。

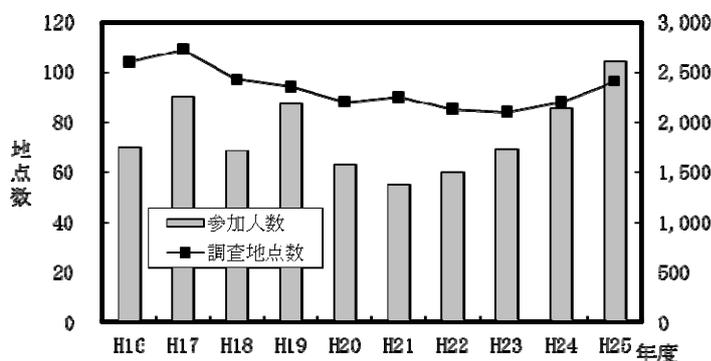


図-1 参加者数と調査地点数

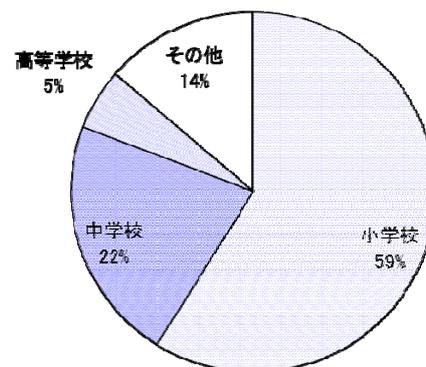


図-2 平成25年度 調査参加団体構成比

平成25年度の調査は、中国地方の一級河川の96地点において、6月から11月にかけて、73団体、延2,600人の参加を得て実施しました（P.7 表-2参照）。

平成24年度に比べ参加人数が約464人増加し、多くの子供達に調査をしていただいたことで大変貴重なデータを得ることができました。

子供達にとっても、水に親しみながら調査をしたことで”きれいな川”に対するより具体的なイメージを持って頂く機会になったと思います。

3. 調査の方法

この調査は、国土交通省河川局(現：水管理国土保全局)編「川の生きものを調べよう～水生生物による水質判定～」を基に、川底に生息する水生生物を採取し、表－1に示す『水のきれいさ』の指標となっている生物の種類数と個体数により、川の水質状況を判定するものです。

表－1 水のきれいさの程度（階級）とその指標となる生物

I きれいな水の生物		II：ややきれいな水の生物	
カワゲラ	ヘビトンボ	コガタシマトビケラ	コオニヤンマ
ヒラタカゲロウ	ブユ	オオシマトビケラ	スジエビ
ナガレトビケラ	アミカ	ヒラタドロムシ	○ ヤマトシジミ
ヤマトビケラ	サガワガニ	ゲンジボタル	○ イシマキガイ
	ウスムシ		カワニナ
III:きたない水の生物		IV:とてもきたない水の生物	
ミズカマキリ	○ ニホンドロソコエビ	セスジユスリカ	サカマキガイ
タイコウチ	タニシ	チョウバエ	エラミミズ
ミズムシ	ヒル	アメリカザリガニ	
○ イソコツブシ			

注)○は、海水の少し混ざっている汽水域の生物

・判定方法

水質階級の判定方法は、調査地点毎に出現した個体数の多かった指標生物2種類（ただし、3種類の指標生物についてほぼ同じ個体数であった場合は、最大3種類）については2点、それ以外の指標生物については1点として点数をつける。

- ・各階級ごとに各指標生物の点数を合計する。
- ・点数のもっとも高い階級をその地点の水質階級と判定する。
- ・ただし、複数の階級について同点がある場合には、水質の良い階級をその地点の階級とする。例えば、階級Iと階級IIが同点の場合は階級Iとする。

4. 調査結果概要

水質階級 [I]、[II] と判定された地点が全体の 97%

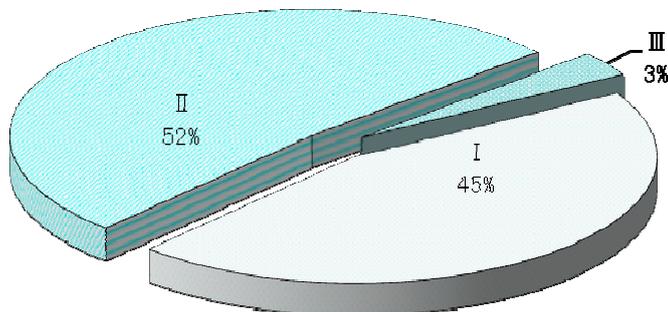


図-3 平成25年度 水質階級構成比

水生生物からみた中国地方一級河川の水質状況は、一級水系調査地点96地点のうち、「I：きれいな水」が43地点、「II：ややきれいな水」が49地点、「III：きたない水」が3地点、「IV：とてもきたない水」はありませんでした。（指標生物が見つからず評価できない箇所が1地点ありました。）この結果、[I]、[II]と判定された地点が全体の97%となり、中国地方の一級河川は良好な状態を保っています。

中国地方一級河川の良好な状態を保つため、今後も生活排水などの川の水質に影響を及ぼすものに対する一人一人の心掛けが必要です。

中国地方の一級河川の水質は、良好な状態を維持

図-4は、過去10年間の判定水質階級比率の推移を表したのですが、平成25年度は階級IとIIを合わせた比率は97%であり、中国地方の一級水系は、継続的に良好な水質を保っていると言えます。

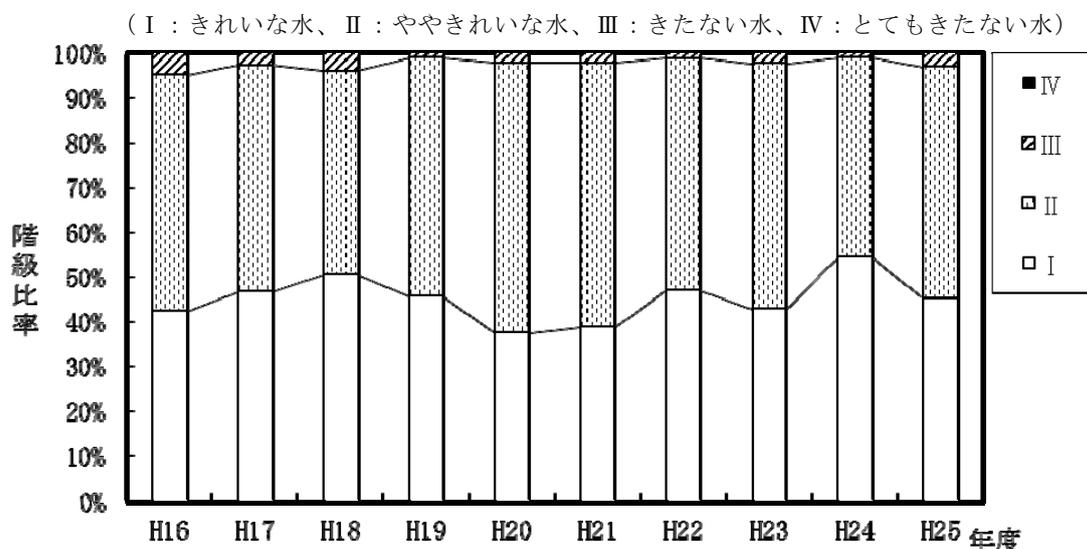


図-4 判定水質階級比率の推移

5. 河川別参加者、参加団体等集計

表－2 水生生物による水質の簡易調査「平成25年度実施結果」

(水質階級 I：きれいな水 II：ややきれいな水 III：きたない水 IV：とてもきたない水)

県名	水系名	調査 地点数 (地点)	参加 人数 (人)	参加 団体数 (団体)	判定水質階級 (地点)				
					I	II	III	IV	未評価
鳥取県	千代川	8	331	6	6	2			
	天神川	8	99	7	8				
	日野川	5	49	3	3	2			
島根県	斐伊川	16	490	13	6	8	1		1
	江の川下流	6	117	5	1	5			
	高津川	4	101	2	3	1			
岡山県	吉井川	5	66	2		4	1		
	旭川	2	9	1		2			
	高梁川	4	11	1		4			
広島県	江の川上流	13	463	13	1	12			
	太田川	14	187	9	10	4			
	芦田川	4	14	3		3	1		
広島県・山口県	小瀬川	3	330	1	3				
山口県	佐波川	4	333	7	2	2			
合計		96	2,600	73	43	49	3	0	1
					45%	52%	3%	0%	
前年 (平成24年)		88	2,136	77	48	39	1	0	0
					55%	44%	1%	0%	0%

※合計の%は未評価を除く95地点での評価である。

【参加団体内訳】		
小学校	43団体	2,068人
中学校	16団体	283人
高等学校	4団体	57人
その他	10団体	192人

表-3 水生生物による水質の簡易調査「平成25年度実施結果」(鳥取県)

(水質階級 I:きれいな水 II:ややきれいな水 III:きたない水 IV:とてもきたない水)

水系名	河川名	地点番号	調査地点名	調査地点地名	調査月日	調査団体名等	参加人数	H25判定水質階級	備考
千代川	千代川	1	用瀬	鳥取市用瀬町用瀬(雛橋下流)	7月16日	鳥取市立用瀬小学校	26	I	鳥取河川国道事務所
	千代川	2	佐貫	鳥取市河原町佐貫(県道本鹿・高福線佐貫橋下流)	7月9日	鳥取市立散岐小学校	16	I	
	千代川	3	袋河原	鳥取市河原町袋河原(県道河原・郡家線出会橋直上流)	9月18日	鳥取市立河原第一小学校	39	I	
	千代川	4	源太	鳥取市源太(県道猪ノ子・国安線源太橋直上流)	8月28日	鳥取大学附属小学校	80	I	
	千代川	5	行徳	鳥取市古市(県道鳥取・鹿野・倉吉線千代大橋直上流)	8月29日		80	I	
	八東川	6	片山	鳥取市河原町今在家(市道徳吉・片山線今在家橋上流)	8月22日	直営	-	I	
	袋川	7	町屋	鳥取市国府町町屋(市道庁1号線国府橋上流)	7月11日	鳥取市立宮ノ下小学校	51	II	
	袋川	8	大杵	鳥取市大杵(市道大杵橋線大杵橋下流)	7月2日	鳥取市立日進小学校	39	II	
天神川	天神川	1	竹田橋	鳥取県倉吉市竹田橋	8月6日	倉吉東学童クラブ	34	I	倉吉河川国道事務所
	天神川	2	小田橋	鳥取県倉吉市小田橋	8月5日	大栄中学校	4	I	
	小鴨川	3	松河原大橋	鳥取県倉吉市 松河原大橋	9月12日	関金小学校	21	I	
	小鴨川	4	上小鴨水辺の楽校	鳥取県倉吉市福山	7月4日	上小鴨小学校	11	I	
	小鴨川	5	下大江親水公園	鳥取県倉吉市下大江	10月10日	倉吉農業高校	2	I	
	小鴨川	6	出口橋	鳥取県倉吉市金森町地先	10月4日	直営	-	I	
	国府川	7	高城水辺の楽校	倉吉市上福田地先(上福田橋左岸側下流)	7月19日	高城小学校	10	I	
	三徳川	8	大瀬水辺の楽校	東伯郡三朝町大瀬地先(加茂橋右岸側上流)	7月29日	三朝西小学校	17	I	
日野川	日野川	1	車尾堰	鳥取県米子市上福原地先	8月5日	直営	-	II	日野川河川事務所
	日野川	2	伯耆橋	鳥取県西伯郡伯耆町吉定地先	7月26日	岸本小学校	45	I	
	日野川	3	鬼守橋	鳥取県西伯郡伯耆町溝口地先	8月23日	一般参加(松江高専:8/23参加)	1	II	
	法勝寺川	4	五ヶ堰下流	鳥取県西伯郡南部町馬場地先	8月5日	法勝寺中学校	3	I	
	秋原川	5	日南湖湖畔	鳥取県日野郡日南町中原地先	8月6日	直営	-	I	
			21 地点			小学校 11 校	435人	I (17) 81%	
					中学校 2 校	7人			
					高校 1 校	2人	II (4) 19%		
					大学 0 校	0人	III (0) 0%		
					一般 2 団体	35人	IV (0) 0%		
					計 16 団体	479人			

表-3 水生生物による水質の簡易調査「平成25年度実施結果」(島根県)

(水質階級 I:きれいな水 II:ややきれいな水 III:きたない水 IV:とてもきたない水)

水系名	河川名	地点番号	調査地点名	調査地点地名	調査月日	調査団体名等	参加人数	H25判定水質階級	備考
斐伊川	亀嵩川	1	前田橋	奥出雲町 亀嵩	8月7日	亀嵩公民館環境部	9	I	出雲河川事務所
	斐伊川	2	横田大橋	島根県仁多郡奥出雲町横田	9月10日	横田公民館婦人会	22	I	
	神戸川	3	馬木大橋	出雲市馬木町馬木	9月13日	神戸川小学校	100	I	
	玉湯川	4	玉湯橋	松江市玉湯町大谷	9月18日	玉湯小学校	43	無	
	佐々布川	5	宍道小付近	島根県松江市宍道町宍道	9月19日	宍道小学校	69	II	
	飯梨川	6	飯梨橋	安来市赤江町	9月19日	赤江小学校	59	II	
	飯梨川	7	広瀬緋センター付近	安来市赤江町	9月27日	広瀬小学校	37	I	
	斐伊川	8	鳥上小付近	雲南市木次町平田	10月1日	鳥上小学校	13	I	
	神戸川	9	朝山小付近	出雲市所原町	10月4日	朝山小学校	40	I	
	宍道湖	10	宍道湖西岸なぎさ公園	出雲市斐川町 中洲	10月5日	直営	-	III	
	三刀屋川	11	三刀屋橋	雲南市三刀屋町三刀屋	10月5日	直営	-	II	
	伯太川	12	安来大橋	島根県安来市安来町	10月5日	直営	-	II	
	本庄川	13	新市川橋	島根県松江市新庄町	10月7日	本庄幼稚園	10	II	
	五右衛門川	14	太才南橋	出雲市斐川町西野	10月17日	西野小学校	34	II	
	宍道湖	15	宍道湖大橋	島根県松江市魚町	10月20日	東茶町町内会	19	II	
	中海	16	意東港	島根県松江市東出雲町下意東	11月26日	意東小学校	35	II	
高津川	匹見川	1	横田	島根県益田市向横田町大滝(横田橋上流左岸)	6月18日	西益田小学校 横田中学校	35 42	I	浜田河川国道事務所
	高津川	2	神田	島根県益田市神田町神田(神田大橋上流左岸)	8月21日	直営	-	I	
	高津川	3	虫追	島根県益田市向安富町川成(西益田大橋上流安富橋付近右岸)	9月13日	直営	-	I	
	高津川	4	飯田	島根県益田飯田町	7月17日	西益田小学校	24	II	
江の川	江の川	1	都賀西	島根県邑智郡美郷町都賀西	6月12日	大和小学校	15	II	
	江の川	2	都賀本郷	島根県邑智郡美郷町都賀本郷(道の駅グリーンロード大和付近)	8月22日	大和中学校	9	II	
	江の川	3	粕淵	島根県邑智郡美郷町浜原(浜原大橋下流右岸)	8月29日	直営	-	II	
	江の川	4	川本	島根県邑智郡川本町上三島	6月6日	川本中学校	24	II	
	江の川	5	川戸	島根県江津市桜江町川戸(桜江大橋上流左岸)	7月9日	桜江中学校	31	I	
	江の川	6	市村	島根県江津市松川町市村(松川橋下流右岸)	6月25日	郷田小学校	38	II	
		26 地点		小学校 12 校		542人	I (10) 40%		
				中学校 4 校		106人			
				高校 0 校		0人		II (14) 56%	
				大学 0 校		0人		III (1) 4%	
				一般 4 団体		60人		IV (0) 0%	
				計 20 団体		708人			

表-3 水生生物による水質の簡易調査「平成25年度実施結果」(岡山県)

(水質階級 I:きれいな水 II:ややきれいな水 III:きたない水 IV:とてもきたない水)

水系名	河川名	地点番号	調査地点名	調査地点地先名	調査月日	調査団体名等	参加人数	H25判定水質階級	備考
高粱川	高粱川	1	湛井堰	岡山県総社市橋本地先	7月22日	総社市立総社西中学校	11	II	岡山河川事務所
	高粱川	2	川辺橋	岡山県倉敷市真備町川辺地先	7月25日	直営	-	II	
	高粱川	3	酒津	岡山県倉敷市酒津地先	7月25日	直営	-	II	
	小田川	4	福松橋	岡山県倉敷市真備町松尾地先	7月25日	直営	-	II	
吉井川	吉井川	1	和気橋	岡山県和気郡和気町田原下地先	7月31日	和気町立和気中学校	10	II	
	吉井川	2	熊山橋	岡山県赤磐市千躰地先	9月20日	直営	-	II	
	吉井川	3	弓削橋	岡山県岡山市瀬戸町二日市地先	7月24日	直営	-	III	
	吉井川	4	備前大橋	岡山県瀬戸内市長船町福岡地先	7月24日	直営	-	II	
	金剛川	5	宮橋	岡山県和気郡和気町尺所地先	7月2日	和気町立本荘小学校	56	II	
旭川	旭川	1	新大原橋	岡山県岡山市傘佐地先	8月1日	岡山市立高島中学校	9	II	
	旭川	2	三野	岡山県岡山市三野地先	7月3日	直営	-	II	
			11 地点	小学校 1 校			56人	I (0) 0% II (10) 91% III (1) 9% IV (0) 0%	
				中学校 3 校			30人		
				高校 0 校			0人		
				大学 0 校			0人		
				一般 0 団体			0人		
				計 4 団体			86人		

表-3 水生生物による水質の簡易調査「平成25年度実施結果」(広島県)

(水質階級 I:きれいな水 II:ややきれいな水 III:きたない水 IV:とてもきたない水)

水系名	河川名	地点番号	調査地点名	調査地点地先名	調査月日	調査団体名等	参加人数	H25判定水質階級	備考
江の川	字賀川	7	同朋橋下流	広島県三次市甲奴町字賀	9月6日	三次市立甲奴小学校	12	II	三次河川国道事務所
	馬洗川	8	久松橋上流	広島県三次市三良坂町三良坂	7月9日	三次市立三良坂小学校	25	II	
	美波羅川	9	大滝橋下流	広島県三次市大田幸町	7月2日	三次市立大田幸小学校	10	II	
	馬洗川	10	八次河川敷	広島県三次市島敷町(鳥居橋下流)	9月11日	三次市立八次小学校	93	II	
	馬洗川	11	十日市親水公園	広島県三次市十日市町	6月18日	三次市立十日市小学校	108	II	
	江の川	12	桂水辺の楽校	広島県安芸高田市吉田町桂	6月10日	安芸高田市立郷野小学校	10	II	
	江の川	13	可愛橋下流	広島県安芸高田市吉田町川本	6月7日	安芸高田市立可愛小学校	31	II	
	江の川	14	毘沙門橋上流	広島県安芸高田市吉田町古市	6月12日	安芸高田市立吉田小学校	60	II	
	大土川	15	小田東小学校裏	広島県安芸高田市甲田町高田原	7月9日	安芸高田市立小田東小学校	19	II	
	本村川	16	五龍橋下流	広島県安芸高田市甲田町上甲立	9月20日	安芸高田市立甲立小学校	18	II	
	江の川	17	石見堂橋下流	広島県安芸高田市甲田町深瀬	6月11日	三次市立川地小学校	11	II	
	小似川	18	原田橋下流	広島県三次市青河町(小似川)	7月10日	三次市立青河小学校	6	I	
	江の川	19	祝橋下流	広島県三次市栗屋町	7月12日	三次市立三次小学校	60	II	
芦田川	芦田川	1	大井手頭首工	府中市久佐町地先	8月21日	福山市立中央中学校 福山市立城西中学校	3 2	II	福山河川国道事務所
	芦田川	2	府中大橋(新橋)	府中市土生町地先	8月9日	めだかの学校(任意団体)	9	II	
	芦田川	3	山手橋	福山市山手町地先	9月4日	直営	-	II	
	高屋川	4	白鷺橋	福山市神辺町川南地先	9月5日	直営	-	III	
太田川	太田川	1	柴木川下流	広島県山県郡安芸太田町吉和郷(JR可部線 戸河内駅 上流)	7月10日	安芸太田町立戸河内中学校	29	I	太田河川事務所
	太田川	2	新轟橋	広島県山県郡安芸太田町上殿(中国縦貫道 戸河内I.C付近)	7月11日	安芸太田町立殿賀小学校 安芸太田町立上殿小学校	8 4	I	
	太田川	3	加計	広島県山県郡安芸太田町加計見入ヶ崎(丁川合流点 下流付近)	7月12日	広島県立加計高等学校	19	I	
	太田川	4	高山川下流	広島市安佐北区安佐町小河内神原(JR可部線 小河内駅 上流 高山川合流点付近)	7月10日	広島市立小河内小学校	11	I	
	太田川	5	壬辰橋	広島県安佐北区安佐町毛木沖田(JR可部線 毛木駅付近)	9月19日	広島市立久地中学校	20	I	
	太田川	6	太田川橋	広島県安佐南区佐東町八木細野土手外(国道54号太田川橋上流右岸)	7月31日	広島県立可部高等学校	8	I	
	太田川	7	安佐大橋	広島県安佐南区川内4丁目(安佐大橋上流 左岸)	8月29日	広島県立祇園北高等学校	20	I	
	根谷川	8	新川橋	広島市安佐北区中島(可部発電所 上流)	7月31日	広島県立可部高等学校	8	II	
	三篠川	9	深川橋	広島県安佐北区深川2丁目(深川橋 下流)	9月19日	直営	-	I	
	古川	10	第一古川	広島県安佐南区緑井6丁目(第二古川との合流点 上流)	9月19日	直営	-	II	
	古川	11	第二古川	広島県安佐南区緑井6丁目(第一古川との合流点 上流)	9月19日	直営	-	II	
	古川	12	大下	広島県安佐南区緑井1丁目(山陽自動車道横過地点 直下流)	8月1日	広島市立東原中学校	20	I	
	古川	13	神田橋	広島県安佐南区中筋1丁目(安川との合流点付近)	8月1日		20	II	
	古川	14	松原橋	広島県安佐南区中筋1丁目(松原橋 上流)	8月1日		20	I	
小瀬川	小瀬川	1	小川津	山口県岩国市小川津(JR山陽新幹線橋梁上流、小川津下流)	9月17日	大竹市立大竹小学校	110	I	
	小瀬川	2	御堂原	広島県大竹市穂仁原(乙瀬橋付近)	9月17日		110	I	
	小瀬川	3	両国橋	広島県大竹市木野(両国橋 下流)	9月17日		110	I	
34 地点			小学校 17校			816人	I (14) 41%		
			中学校 5校			114人			
			高校 3校			55人		II (19) 56%	
			大学 0校			0人		III (1) 3%	
			一般 1団体			9人		IV (0) 0%	
			計 26 団体			994人			

表－3 水生生物による水質の簡易調査「平成25年度実施結果」（山口県）

(水質階級 I：きれいな水 II：ややきれいな水 III：きたない水 IV：とてもきたない水)

水系名	河川名	地点番号	調査地点名	調査地点地先名	調査月日	調査団体名等	参加人数	H25判定水質階級	備考	
佐波川	佐波川	1	堀	山口市徳地堀(出雲合橋上流右岸)	8月21日	直営	—	I	山口河川国道事務所	
	佐波川	2	漆尾	山口市徳地伊賀地(尾蔵堰下流右岸)	8月21日	直営	—	I		
	佐波川	3	小野水辺の楽校	防府市奈美	8月21日	小野水辺の楽校空間利用を考える会	40	II		
	佐波川	4	新橋	防府市上右田(本橋上流右岸)	7月25日	防府市立右田中学校 防府市立桑山中学校	12 14	II		
	佐波川				7月26日	佐波川に学ぶ会	20			
	佐波川				9月27日	防府市立佐波小学校	85			
	佐波川				10月4日	防府市立華城小学校	134			
	佐波川				10月6日	防府市青少年科学館ソラール	28			
4 地点				小学校 2 校		219人	I (2) 50%			
				中学校 2 校		26人		II (2) 50%		
				高校 0 校		0人			III (0) 0%	
				大学 0 校		0人				IV (0) 0%
				一般 3 団体		88人				
				計 7 団体		333人				

(環境省同時発表)

平成 26 年 6 月 3 日 (火)
水管理・国土保全局河川環境課

平成 25 年度全国水生生物調査の結果及び 平成 26 年度の調査の実施について (お知らせ)

- 水生生物を指標として河川の水質を総合的に評価するため、また環境問題への関心を高めるため、環境省と国土交通省では、一般市民等の参加を得て全国水生生物調査を実施しています。
- 平成 25 年度の全国水生生物調査は約 59,000 人の参加を得て行われ、夏休み期間を中心として、多くの学校 (小中学校等：約 39,000 人) や、市民団体等 (市民団体・子供会・観察会等：約 18,000 人) から参加が得られました。
- 全国の調査地点 2,258 地点のうち、全体の 59%の地点でサワガニやカワゲラ類等の指標生物の生息が確認され、「きれいな水」と判定されました。
- 本年度も調査を実施しますので、是非御参加下さい。

国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課

課長補佐 三宅 洋 (内線 35-443)

係 長 大嶋 恭子 (内線 35-482)

TEL 03-5253-8111 (代表)、03-5253-8447 (直通)

FAX 03-5253-1603

環境省 水・大気環境局 水環境課

課 長 宮崎 正信 (内線 6610)

担 当 田中 道雄 (内線 6622)

TEL 03-3581-3351 (代表)、03-5521-8304 (直通)

FAX 03-3593-1438

1. 全国水生生物調査とは

河川に生息するサワガニ、カワゲラ類等の水生生物の生息状況は、水質汚濁の影響を反映することから、それらの水生生物を指標として水質を判定することができます。このような調査は、一般の人にもわかりやすく、高価な機材等を要しないことから誰でも簡単に参加できるという利点があります。また、調査を通じて身近な自然に接することにより、環境問題への関心を高める良い機会となるため、環境省と国土交通省では、昭和 59 年度から全国水生生物調査を実施しています。

2. 平成 25 年度調査結果の概要

(1) 調査方法

本調査では、河川に生息する水生生物のうち、[1]全国各地に広く分布し、[2]分類が容易で、[3]水質に係る指標性が高い、29 種を指標生物としました。

河川で水生生物を採集し指標生物の同定・分類を行い、地点ごとに、Ⅰ(きれいな水)、Ⅱ(ややきれいな水)、Ⅲ(きたない水)、Ⅳ(とてもきたない水)の4階級で水質の状況を判定しました。

(2) 調査結果

○参加者数

平成 25 年度の参加者は 59,053 人（前年度 61,818 人）でした。

	参加者数	参加団体数	調査地点数
合計	59,053 人	1,522 団体	2,258 地点
一級河川※1	15,200 人	425 団体	486 地点
その他の河川※2	43,853 人	1,097 団体	1,772 地点

※1：一級河川大臣管理区間 ※2：一級河川都道府県管理区間及び二級河川等（※1以外）

○水質判定結果

平成 25 年度は、全調査地点の 59%の地点で「きれいな水」と判定され、前年度(59%)と同様の状況でした。

	合計	一級河川	その他の河川
Ⅰ きれいな水	59%	61%	58%
Ⅱ ややきれいな水	26%	32%	25%
Ⅲ きたない水	8%	4%	9%
Ⅳ とてもきたない水	4%	1%	5%
判定不能	2%	2%	3%

※四捨五入による端数処理のため内数の合計が100%にならないことがあります。

3. 平成26年度調査の実施について

平成26年度も引き続き、全国水生生物調査を実施します。

なお平成25年度より、新しい指標生物にて調査しております。詳しくは下記お問合せ先へお尋ねください。

(参考) 水質階級と指標生物

水域	川の水のよごれ (水質ランク)	新		旧	
淡水域	きれいな水(Ⅰ)	1	ナミウズムシ	1	ナミウズムシ
		2	サワガニ	2	サワガニ
		3	ヒラタカゲロウ類	3	ヒラタカゲロウ類
		4	カワゲラ類	4	カワゲラ類
		5	ヘビトンボ	5	ヘビトンボ
		6	ナガレトビケラ類	6	ナガレトビケラ類
		7	ヤマトビケラ類	7	ヤマトビケラ類
		8	ブユ類	8	ブユ類
		9	アミカ類	9	アミカ類
		10	ヨコエビ類		
	きれいな水(Ⅰ)～ ややきれいな水(Ⅱ) (指標としない)	1	ヒゲナガカワトビケラ類		
		2	ニンギョウトビケラ類		
		3	タニガワカゲロウ類		
		4	チラカゲロウ		
	ややきれいな水(Ⅱ)	1	カワニナ類	1	カワニナ類
				2	スジエビ
		2	コオニヤンマ	3	コオニヤンマ
		3	コガタシマトビケラ類	4	コガタシマトビケラ類
		4	オオシマトビケラ	5	オオシマトビケラ
		5	ヒラタドロムシ類	6	ヒラタドロムシ類
	きたない水(Ⅲ)	6	ゲンジボタル	7	ゲンジボタル
		1	タニシ類	1	タニシ類
		2	シマイシビル	2	シマイシビル
		3	ミズムシ	3	ミズムシ
	とてもきたない水(Ⅳ)			4	タイコウチ
		4	ミズカマキリ	5	ミズカマキリ
		1	サカマキガイ	1	サカマキガイ
		2	エラミミズ	2	エラミミズ
3		アメリカザリガニ	3	アメリカザリガニ	
汽水域	ややきれいな水(Ⅱ)	4	ユスリカ類	4	ユスリカ類
		5	チョウバエ類	5	チョウバエ類
	きたない水(Ⅲ)	1	ヤマトシジミ	1	ヤマトシジミ
		2	イシマキガイ	2	イシマキガイ
		1	イソコツブムシ類	1	イソコツブムシ類
	2	ニホンドロソコエビ	2	ニホンドロソコエビ	

(お問い合わせ先)

- 各都道府県の環境部局

https://www2.env.go.jp/water-pub/mizu-site/mizu/suisei/etsuran/list_pref.html

- 各地方整備局等の窓口(一級河川直轄管理区間)

http://www.mlit.go.jp/river/toukei_chousa/kankyō/kankyō/suisitu/toiawase.html

平成25年度全国水生生物調査結果

1. 参加人数及び参加団体数

平成25年度の参加人数は59,053人であった。
 うち、一級河川※1は15,200人であり、その他の河川※2は43,853人であった。また、参加団体数は1,522団体で、うち一級河川は425団体であった。
 参加団体別の参加人数は小学校での参加が最も多く、次いで各種団体、観察会の順番であった。
 都道府県別の参加者数では岐阜県が最も多く、次いで愛知県、岩手県の順番であった。

参加者数の多い都道府県

順位	都道府県名	参加人数	うち一級河川
1	岐阜	6,134	267
2	愛知	4,823	920
3	岩手	4,599	76
4	三重	3,124	1,063
5	広島	2,833	726

※1一級河川大臣管理区間（以下「一級河川」と言う）
 ※2一級河川都道府県管理区間及び二級河川等※1以外の河川（以下「その他の河川」と言う）

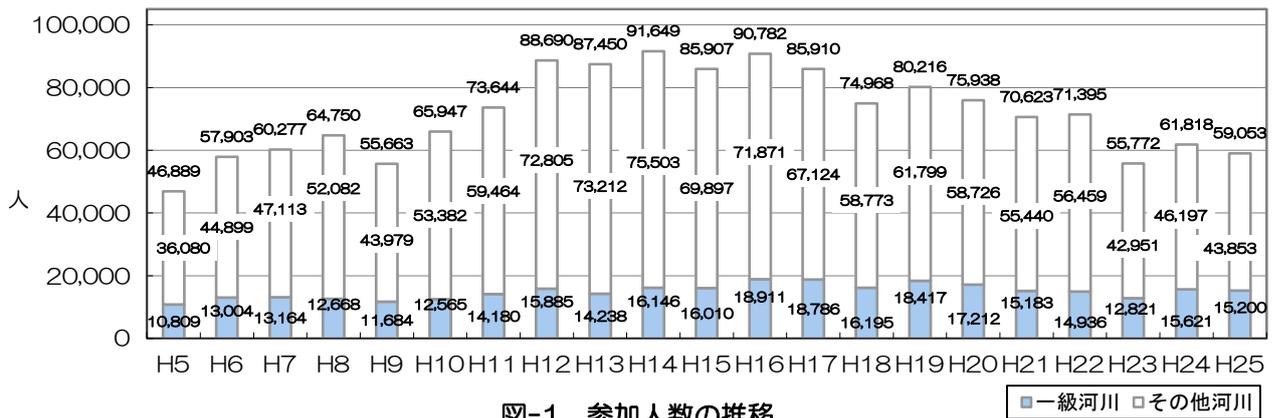


図-1 参加人数の推移

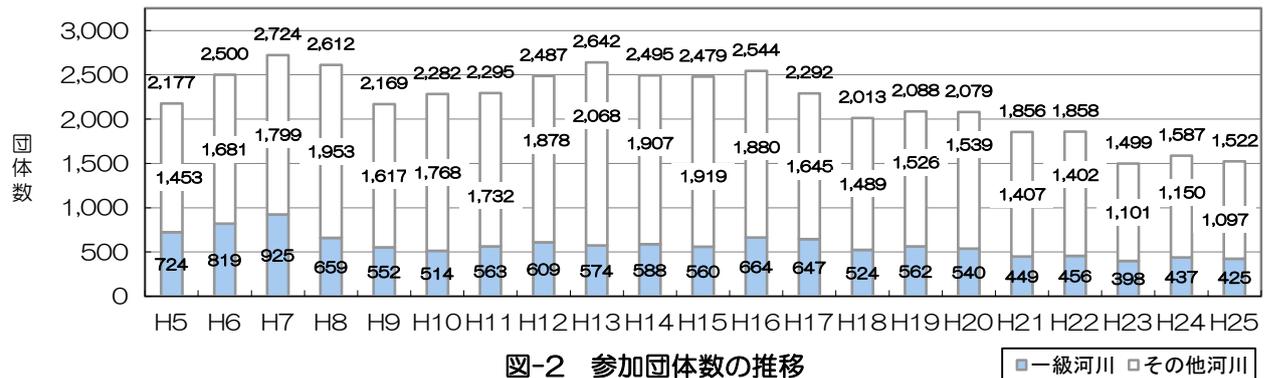


図-2 参加団体数の推移

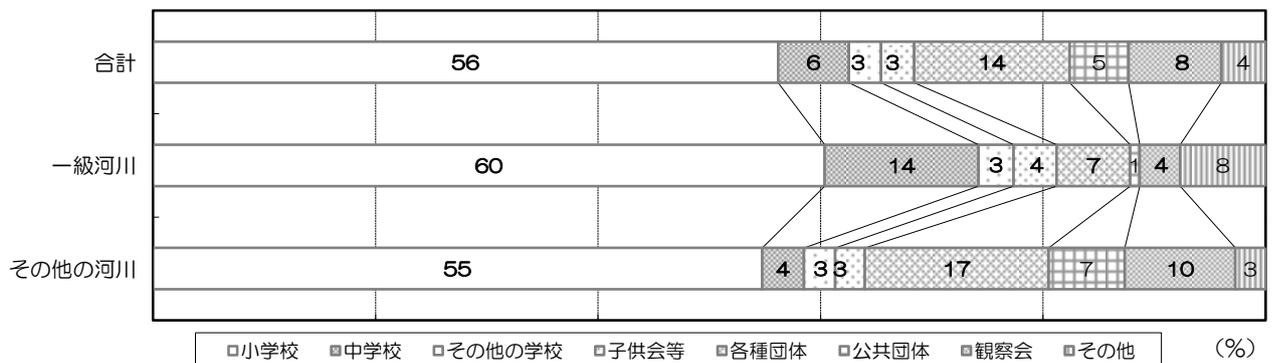


図-3 参加人数の団体種類別構成比

※四捨五入による端数処理のため内数の合計が100%にならないことがある。

2. 調査地点数

調査地点数は2,258地点であった。

内訳は、一級河川は486地点、その他の河川は1,772地点であった。

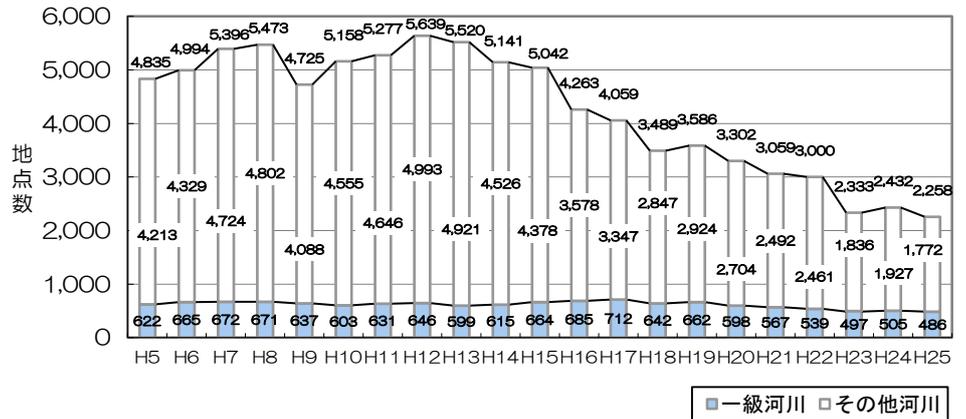


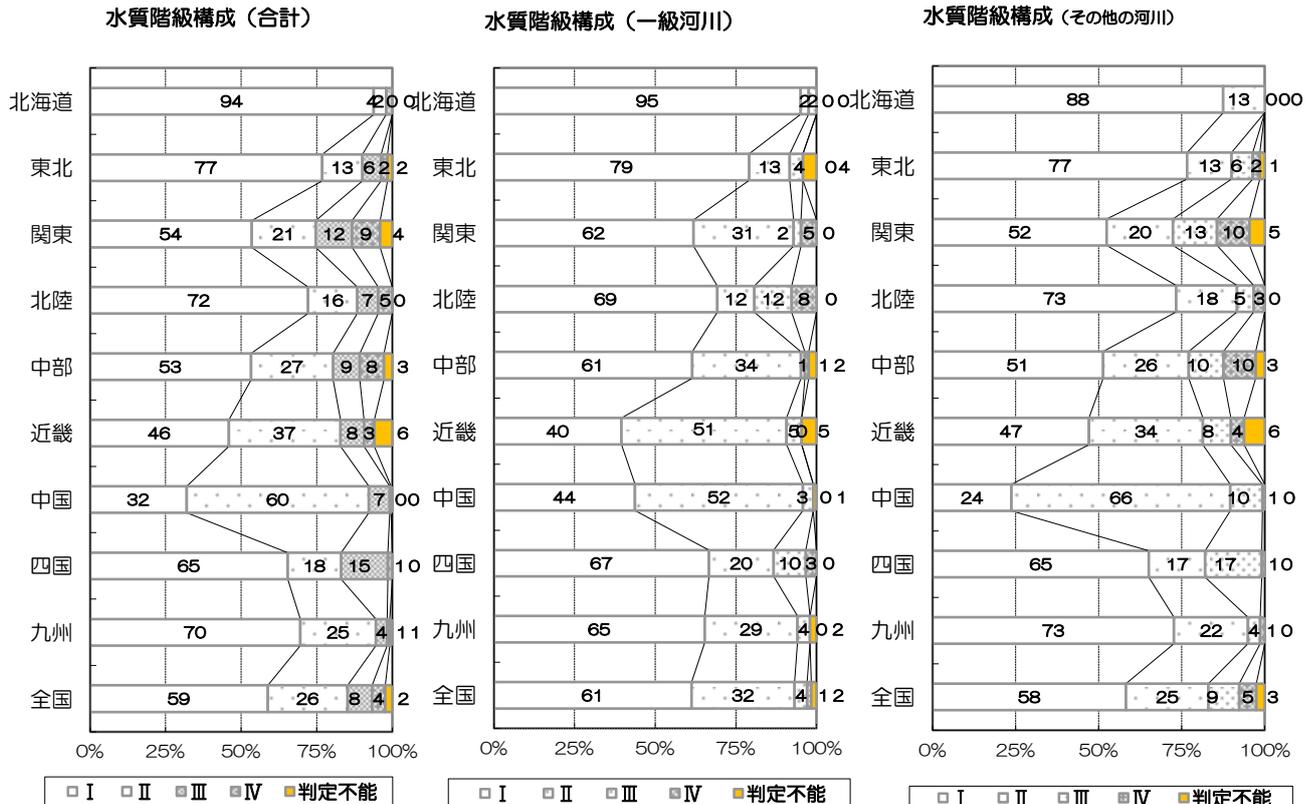
図-4 調査地点数の推移

3. 地域別水質階級構成（地域別の水質の状況）

本調査は、調査地点を参加者が任意に選定するため、我が国の河川の状況を正確に代表したものではない。しかし、多数の地点で調査されているため、全国の水質の状況を概括的に知ることができると考えられる。

平成25年度は、全国で水質階級Ⅰ（きれいな水）と判定された地点が59%、Ⅱ（ややきれいな水）が26%、Ⅲ（きたない水）が8%、Ⅳ（とてもきたない水）が4%であった。

Ⅰ（きれいな水）の割合でみると近畿、中国地方は50%以下であったが、北海道は90%以上の高い値であった。各地方の一級河川とその他の河川のⅠ（きれいな水）の構成比は全般に似通った値であるが、近畿、九州地方はその他の河川の方がⅠ（きれいな水）の構成比が高く、北海道、東北、中国地方等では逆に一級河川の方が高いなど地域による差も生じている。



※判定不能の数値ラベルは図中に表示していない。
四捨五入による端数処理のため内数の合計が100%にならないことがある。

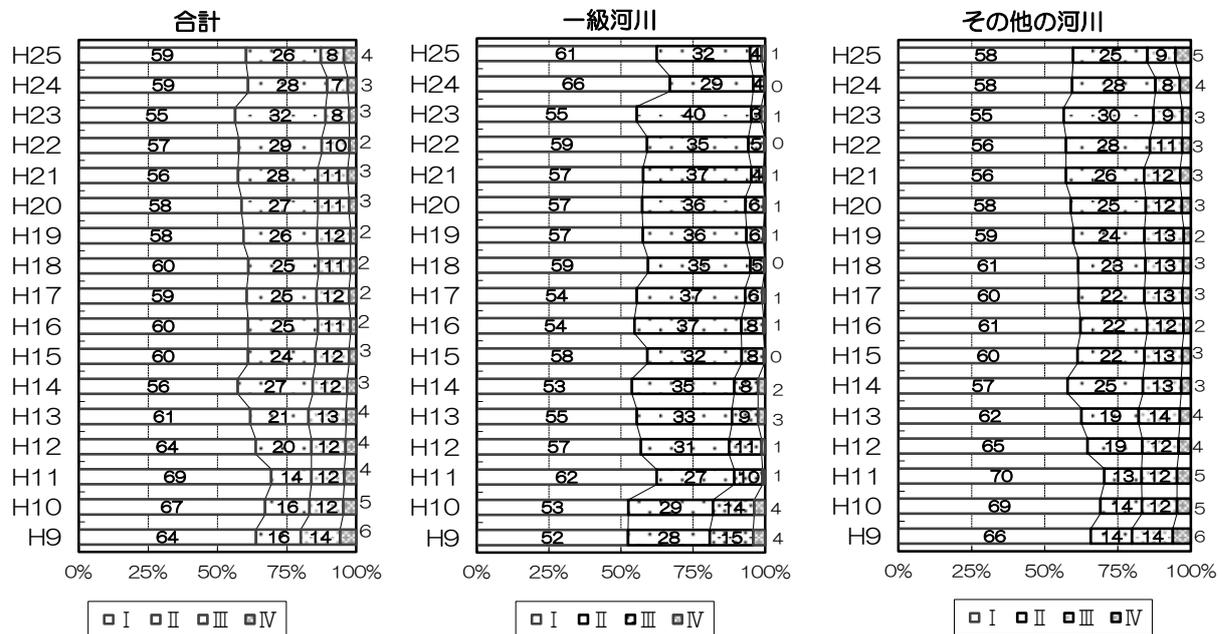
図-5 地域別水質階級構成比

4. 水質階級構成比の年次推移

全国の全調査地点の水質階級構成比を図6に示した。

平成11年度をピークに、I（きれいな水）と判定された地点の割合は減少傾向にあったが、平成14年度以降は55～60%前後でほぼ横這いとなっている。本年度は、I（きれいな水）と判定された地点の割合が昨年度と同様に、59%であった。

なお、年次ごとの調査地点については相違しており、必ずしも同地点を比較したものではない。

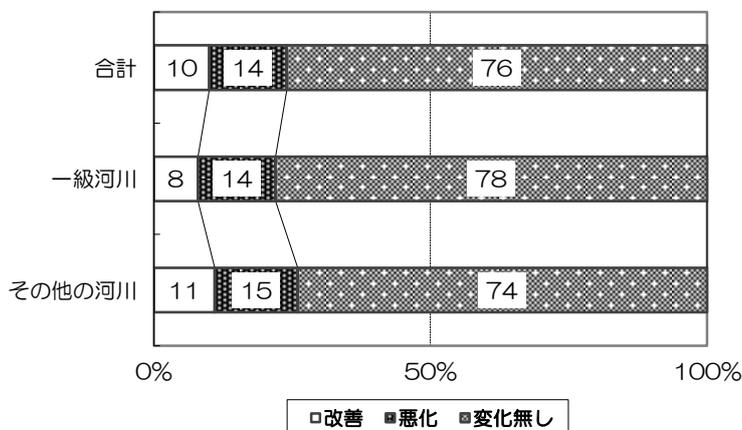


※1 判定不能地点の扱い及び四捨五入による端数処理のため内数の合計が100%にならないことがある。
 ※2 平成12年度から調査手法を変更しているため、平成12年度と平成11年度以前との厳密な比較はできない。

図-6 水質階級構成比の年次推移

5. 前年度（H24）との比較

前年度と同じ地点で調査された1,142地点について比較すると、10%の地点が改善、14%の地点が悪化、76%の地点が同じ水質階級であった。



※四捨五入による端数処理のため内数の合計が100%にならないことがある。

図-7 同一調査地点での昨年度との比較

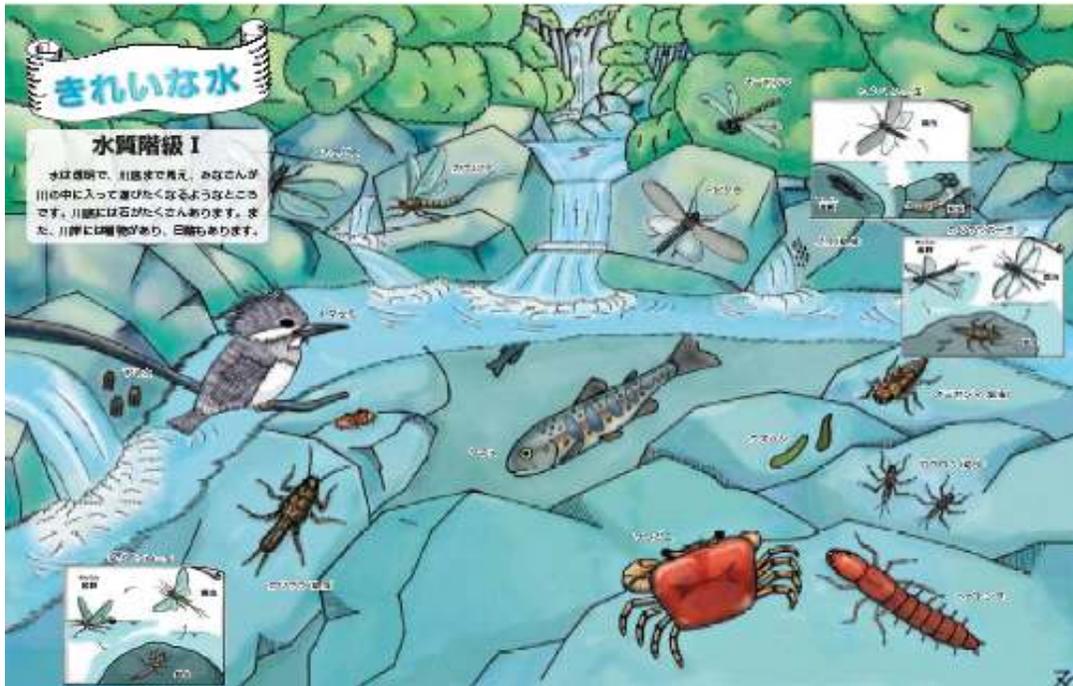
全国水生生物調査の概要

【参考1】

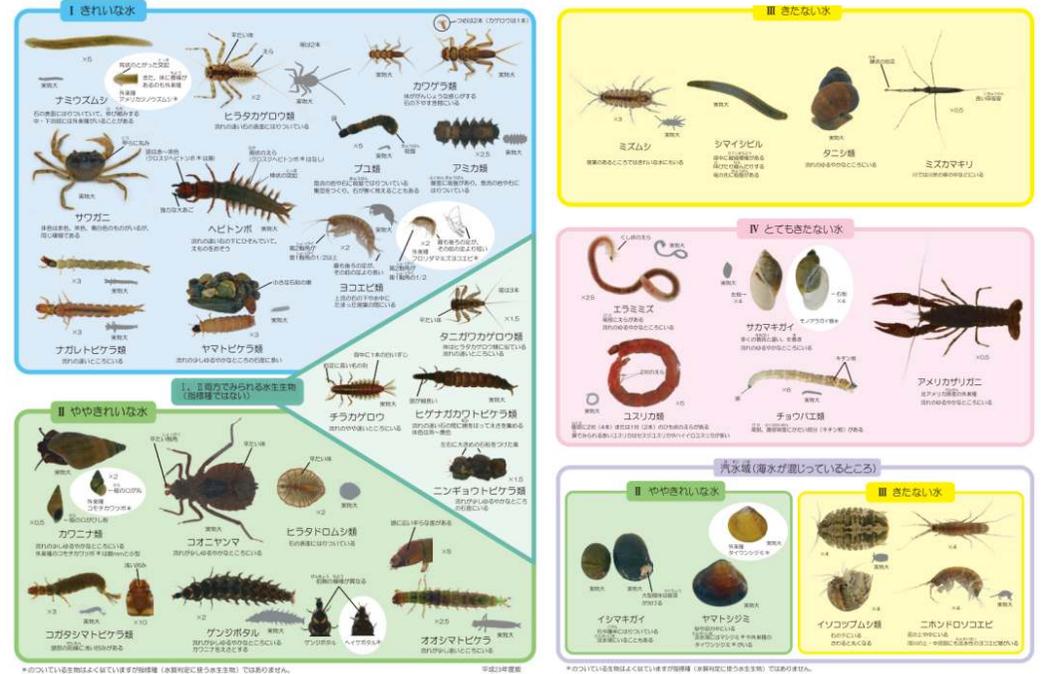
川の中には様々な生きものが住んでいます、特に川底に住んでいる生きものは、過去から調査時点までの長い時間の水質の状況を反映したものであり、どのような生きものが住んでいるかを調べるにより、その地点の水質の程度を知ることができます。この調査は、適切な指導のもと、小学生、中学生、高校生、一般の人々のだれもが簡単にできるようになっています。

調査方法

本調査では、河川に生息する水生生物のうち、①全国各地に広く分布し、②分類が容易で、③水質に係る指標性が高い、29種を指標生物としています。
河川で水生生物を採集し指標生物の同定・分類を行い、地点毎に、I(きれいな水)、II(ややきれいな水)、III(きたない水)、IV(とてもきたない水)の4階級で水質の状況を判定しています。



水質階級と指標生物



きれいな水 (I) の指標生物		ややきれいな水 (II) の指標生物	
ナミウズムシ	サワガニ	カワナ類	コオニヤンマ
ヒラタカゲロウ類	カワゲラ類	コガタシマトビケラ類	オオシマトビケラ
ヘビトンボ	ナガレトビケラ類	ヒラタドロマシ類	ゲンジボタル
ヤマトビケラ類	フユ類	○ ヤマトシジミ	○ イシマキガイ
アマカ類	ヨコエビ類		
きたない水 (III) の指標生物		とてもきたない水 (IV) の指標生物	
タニシ類	シマイシビル	サカマキガイ	エラミミズ
ミズムシ	ミズカマキリ	アメリカザリガニ	ユスリカ類
○ ニホンドロソコエビ	○ イソコツブムシ類	チョウバエ類	
I, II両方で見られる水生生物 (指標生物ではない)			
ヒゲナガカワトビケラ類	ニンギョウトビケラ類		
タニガワカゲロウ類	チラカゲロウ		

注) ○は海水の少し混ざっている汽水域の生物

平成25年度 全国水生生物調査(一級河川)の状況

【参考2】

平成25年度一級河川の全国水生生物調査では、夏休み期間を中心に、小中学校や市民団体等425団体、15,200人の多数の参加を頂き、486箇所の調査地点数となりました。参加者数の多い都道府県は、北海道、三重県、愛知県、大分県等でした。



天塩川水系名寄川(H25.7.19)

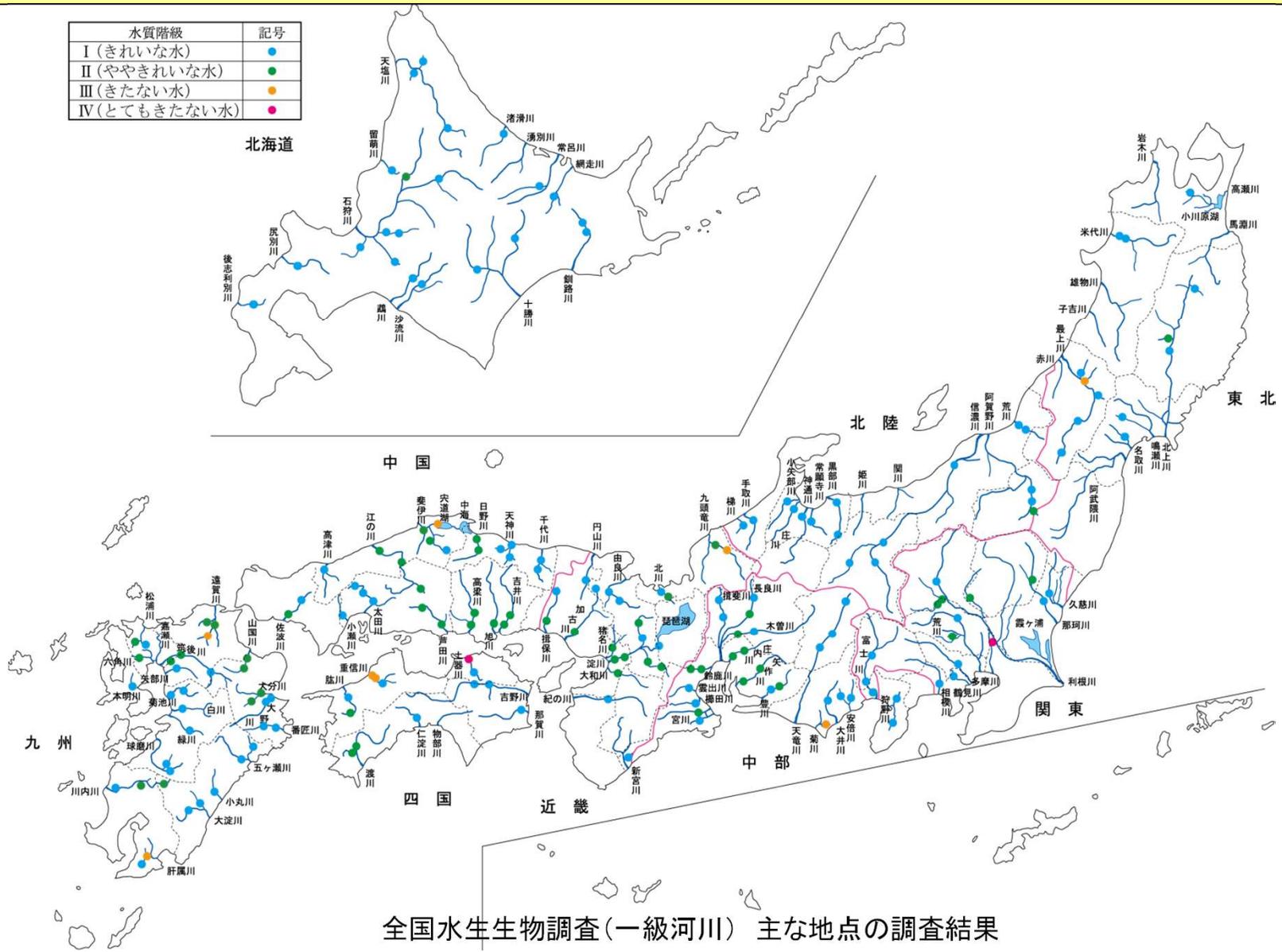


大和川水系大和川(H25.10.1)



小瀬川水系小瀬川(H25.9.17)

水質階級	記号
I (きれいな水)	● (青)
II (ややきれいな水)	● (緑)
III (きたない水)	● (黄)
IV (とてもきたない水)	● (赤)



全国水生生物調査(一級河川) 主な地点の調査結果